

子どもたちは、私たちにしがみついたまま離れず、
余震のたびに泣き声をあげました。
もし今、もっと大きな地震、もっと大きな津波が来たら、
いったいどうやってこの子たちを守ればいいのか。
怖くて、怖くて、涙が出そうになりました。



他の先生たちも、みんな一緒に気持ちだったと思います。
不安で胸が張り裂けそうだったと思います。
でも、みんな笑っていました。
こういうときだからこそ、子どもたちを不安にさせないように、
みんな必死で笑っていました。
だから、私も笑いました。
大きな声で歌も歌いました。
そうやって、子どもたちを、そして自分自身を勇気づけました。

